



議会だより

平成28年 第4回定例会

しらぬか

福を待つ人 歳神様はやってきた？

恋問館



平成29年

第135号

1月25日

- ◇定例会の概要・きめたことから 2~3P
- ◇委員会レポート・第2回臨時会の概要 4P
- ◇一般質問 5~10P
- ◇議会のうごき・傍聴席から 11~13P
- ◇しらぬかいい店こんな店「レストラン はまなす」 14P

定例会の概要

平成28年第4回定例会は12月13日から2日間の会期で行いました。
 初日は、諸般報告、教育長からの行政報告及び8人の一般質問を行い散会しました。
 2日目は、一般会計等予算補正、条例改正、工事請負契約の一部変更、財産の取得及び意見書案の提出等について審議が行われました。

さめたことから

補正予算

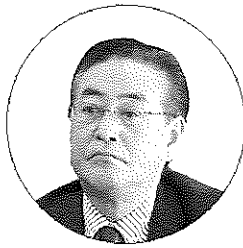
◆一般会計

西麻路コミュニティセンター
 駐車場用地の取得及びチセの改築に係る実施設計費用等の増額補正の他、国からの交付金配分の減額に伴う町道整備事業費の減額補正により3億3530万1千円を減額し、総額を88億5897万1千円としました。

この補正予算の要項

◇西麻路コミュニティセンター 駐車場等用地の取得

質 富田議員 今回購入する土地を駐車場とした場合、民家との間を通ってコミュニティセンターに行くことになるが、その土地の所有者等はどうなっているのか。



富田忠行 議員

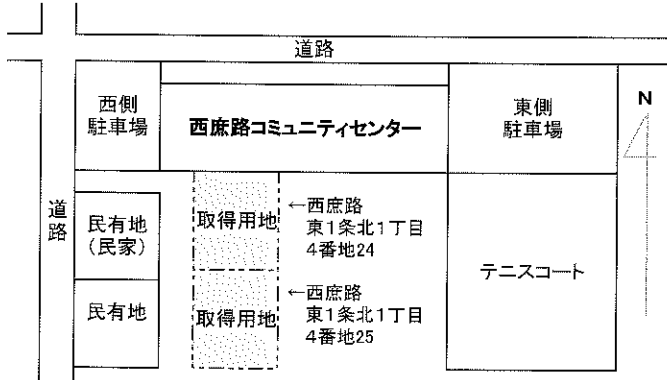
答 庶路支所長 町の道路施設

用地となっている。



小野キサ 議員

質 小野議員 購入する土地は駐車場としてすぐに利用できるのか、整備が必要なのか。



答 庶路支所長 工作物がないのですぐに利用できる。

◇西麻路学園通り改良舗装

質 富田議員 減額補正となっているが、平成30年4月の(仮)庶路小中学校開校までに間に合うのか。

答 建設課長 交付金事業で進めているが、開校に間に合うように要望していく。

◇チセの改築

質 岡嶋議員 老朽化により元の老人福祉センターのところへ移転改築するということだが、築24年で使用できなくなるのか。



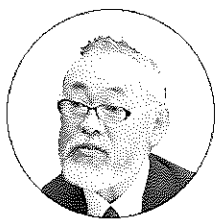
岡嶋賢悟 議員

答 町長 改築理由は老朽化だけではない。現在の施設は狭く、更には特殊な造りで改修が難しいことから、交付金を活用して全面改築を行う。



チセの移転改築予定地の元老人福祉センター

◇振内線及び3号幹線改良舗装
 質 中河議員 減額補正となっているが、完成年度が遅くなるのか。

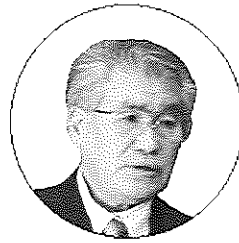


中河敏史 議員

答 建設課長 平成29年度中の完成を目指しているが、来年度も交付金が減額される可能性があり、その場合は最長で3年程度遅くなる。

◇地域おこし協力隊員及び地域活性化支援員

質 石田議員 地域おこし協力隊員の増員募集をして申し込みが無かったという事だが、厚岸町や弟子屈町は協力隊員が集まっている。本町に申し込みがない原因をどう考えているか。



石田正義 議員

【答】町長 厚岸町は70万円程度をかけて首都圏でCMを流した。また、厚岸町や弟子屈町はワイン製造等、隊員の仕事を絞って募集しているが、本町はそうではない。いろいろな事をお願いしたいので幅広い業務の条件で募集を行ったが、結果として申し込みが無かった。

外からの人材にこだわらず、地域に住んでいても良い人材がいるとすれば活用したいので、総務省と相談し、地域おこし協力隊員をやめて募集地域にこだわらない地域活性化支援員として募集することとした。

◇寄附金

質 小池議員 寄附金の内訳は、

- ①教育寄附金
- ②まちづくり寄附金

【答】教育委員会次長 ①教育寄附金110万円の内、1件は匿名希望の個人から100万円、もう1件は大地みらい信用金庫から支店開設30周年を記念して10万円の寄附をいただいた。

【答】企画財政課長 ②まちづくり寄附金340万円は、(株)ユーラスエナジーから寄附をいただいた。

◆国民健康保険特別会計

後期高齢者支援金の確定等により41万4千円を減額し、13億688万円としました。

◆介護保険特別会計

システム改修費用等で4142万6千円を追加し、総額を9億7252万6千円としました。

条

例

◇白糠町児童館条例の一部を改正する条例の制定

児童館の管理及び運営を民間企業に代行させるための条例の

※1 児童館が実施する事業内容を定めた条文

改正。

この案件に対する質疑・答弁

質 鎌田議員 公募先は何社を予定しているのか。また、条例の第3条(※1)が削除になっているが、移行後の対応はどうなるのか。



鎌田民子 議員

【答】福祉課長 公募の関係はこれから選定委員会で決めていく。条例の第3条は削除となるが、指定管理者との協定書の中でこれと同様のものを話し合いながら定める。

◇白糠町農業委員会の委員の定数を定める条例の制定

法改正に伴い本町の農業委員定数を定めるための条例。

この案件に対する質疑・答弁

質 岡嶋議員 従来はそれぞれ地域に詳しい農業者が選挙で選ばれていた。選挙が廃止され

て町長推薦になるということだが、どのように選定をするのか。

【答】農業委員会局長 選定には、公募により委員定数の過半数を農業者から選定しなければならぬ、農業に関わらないものを1名以上選定しなければならぬ、という決め事があり、女性や若い農業者が農業委員になれるような制度になっている。

【答】町長 地域性や経験等を充分考慮して議会に提案したい。

工事請負契約の締結

◇東山橋架替工事

本年6月から行っている本工事について、鉄筋の配筋補強が必要となったことによる契約変更。

この案件に対する質疑・答弁

質 鎌田議員 橋の架替以外に土地を削ったりしているように見えるがそれも含めての変更なのか。

【答】建設課長 変更内容は橋梁を設置する際の下部構造の補強。掘削しているのは川の護岸にブロックを設置する為のもので、それは当初から予定していた。

意見書の提出

本定例会に意見書案が提案され、原案のとおり可決し各関係省庁に提出しました。
なお、意見書文は紙面の都合上、省略させていただきますので、ご覧になりたい方は議会事務局までお問合わせください。

意見書案第2号

介護報酬の再改定を求める意見書

意見書案第3号

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

意見書案第4号

大雨災害に関する意見書

意見書案第5号

JR北海道への経営支援を求める意見書

お詫びと訂正

前号134号5ページに誤りがございました。
誤「大前技研工業」
正「大前技研工業」

謹んでお詫び申し上げますとともに、ここに訂正いたします。

委員会レポート

閉会中の10月4日から6日の3日間にわたり、理事者並びに所管事務担当者の出席を求め、決算書および関係資料に基づき詳細な説明を受けました。

【審査の対象】

平成27年度白糠町一般会計・各特別会計歳入歳出決算

【講評】(抜粋)

大型事業である庶路小中学校用地の造成、子育て支援施策の充実を図るなどの予算編成、予算執行がなされており、限られた財源の中で、常に経費の節約とコスト意識を持ち、確実に基金積立金の増額がなされていることは評価するところである。今後においても、様々な課題を克服し、創生総合戦略などを迅速、かつ効果的に推進して、地域産業をより一層、底上げするよう的確な予算編成、予算執行を望むものである。

本特別委員会の審査過程において、更なる創意、工夫が必要と思われる個別事例も見受けられたことから、審査時における各委員の発言に意を用い、今後とも、よりきめ細やかな目の行

き届いた取り組みを継続していくことを申し述べる。

歳入では、自主財源の要である町税並びに、国民健康保険における保険税の収納について、現下の厳しい経済状況の中、ともに前年度対比で4年連続して収納率が向上していることは、収納事務担当者の努力の結果と判断するものである。今後においても、税金の公平負担の原則を強く意識し、なお一層収納対策に意を用い未納額の縮減を行うよう願うものである。

また、平成27年度から開始した、ふるさと納税の取り組みについては、予定を上回る実績を上げたことは評価するところであり、財源としてはもちろんのこと、返礼品による物産及び産業の振興や、経済活性化、本町のPRにも非常に重要な取り組みである。多くの自治体も力を入れた取り組みを行っていることから、これらの情報に埋もれることなく、本町のふるさと納税情報の的確な発信にさらに意を用いるよう願うものである。

歳出については、限りある財源の中で、各職員が予算執行上の経費節減に取り組まれており、その中にあっても、重点配分された事業予算は計画的に執行がなされ、一定の努力は認められるものの、今後とも社会保障費の

増加や既存の公有財産の維持補修費等の増大が見込まれる中、予想が困難である災害への防災対策も含め、厳しい財政運営が続くものと考えられる。更には、白糠町創生総合戦略に基づく施策の推進に的確に対応し、安定的、継続的に行政サービスを提供していくために、最少の経費で最大の効果を上げる、将来をしっかりと見据えた財政運営を心掛けられたい。

なお、留意すべき事項として、6次産業雇用創出推進事業等、産業振興に関する助成事業については、既存企業の活用について更に周知を図るなど、地場産業の活性化に資するよう取り組みを強化されることに意を用いられたい。

以上、決算審査特別委員会の審査過程において、細部にわたる指摘した事項もあり、各担当において意を用いて取り組むことを申し述べ、認定第1号から認定第7号及び議案第42号は、異議なきものとして、認定並びに可決すべきと決したことを報告致します。

【認定並びに原案可決】
第2回臨時会(11月28日)において、委員会報告のとおりいずれも認定並びに原案可決。

第2回臨時会 11月28日

条例

◇議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
※議案第3号

◇町長等の給与に関する条例の一部改正
※議案第50号

◇教育長の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
※議案第51号

◇職員の給与に関する条例の一部改正
※議案第52号

◇職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
※議案第53号

人事院勧告による国家公務員の給与改定に合わせて給与等を改定するための条例の一部改正

※議案第52号

質 福地議員 人事院勧告も結構だが、我が町の実態を勘案すべきではないか。

答 町長 本町だけのことではない。全国的にそういう事が議論される時代になってきたという思いはある。

◇一般会計

議員手当、職員給与の他、ふるさと納税に係る費用等として2282万7千円を追加し、総額を89億271万6千円としました。

各特別会計についても職員給与等として補正しました。

◇簡易水道及び飲用水道供給事業特別会計
20万1千円を追加し、総額3123万円としました。

◇公共下水道事業特別会計
88万5千円を追加し、総額4959万7千円としました。

◇介護保険事業特別会計
286万7千円を追加し、総額9億3110万円としました。

この案件に対する質疑・答弁

※一般会計

質 福地議員 本町のふるさと納税が伸びている要因は。

答 企画財政課長 インターネットによる受付窓口を1社から2社に増やしたことによる。

人事

◇教育長の選任

任期満了により、地方自治法に基づき選任の同意を頂きました。
教育長 板谷聖一氏

補正予算

一般質問!

一般質問は8名の議員が登壇し、クリーンセンターへの直接搬入、消防庁舎の移転改築、介護職員初任者研修受講者への支援対策、白糠中学校体育施設の改修、タクシーの営業時間の変更等22件30項目について町の考えを質しました。内容は以下のとおりです。



①小野キサ 議員



Q ごみ搬入料金の支払いはどこで?

A 役場・庶路支所でもOK

小野 事業系及び一時的多量ごみはクリーンセンターへ直接搬入し、計量後に再度クリーンセンターへ行って証紙で支払う状況になっている。利用者の利便性を高めるために支払いはクリーンセンターに限らず、役場や庶路支所でも可能な体勢づくりが必要と思うが考えを伺う。

町長 一般廃棄物のクリーンセンターへの直接搬入は事業系はもとより、家庭系の一時的多量ごみについては、平成27年3月より可能となり町民の利便性の向上を図ってきた。

Q バス・タクシーの試験運行状況は

A 予想以上の好評

小野 平成28年10月3日から12月2日まで将来に向けた公共交通の見直しを図るため、バスや乗合タクシーの試験運行が行われた。各便の利用状況とアンケートの集約状況について伺う。

町長 白糠町地域公共交通活性化協議会の主体により実証運行

廃棄物の処理料金は搬入量により証紙でクリーンセンターにおいて支払うことになっているが、今後はクリーンセンターに限らず、役場担当窓口及び庶路支所でも受け付けることとし、町民に周知する。

但し土曜・祝日はクリーンセンターに限る。

小野 周知方法と開始時期を伺う。

町民サービス課長 周知については町の広報、ホームページ、クリーンセンターに掲示するとともに、新年度のごみ収集カレンダーに掲載する。

開始時期についてはすぐに対応することが可能であり、電話照会等で対応する。

○市街地コミュニティバス
 ・白糠ルート(1日8便)
 延べ人数999人

○山間部予約制乗合タクシー
 ・茶路沢ルート(1日6便)
 延べ人数121人

○山間部予約制バス
 ・茶路沢ルート(1日6便)
 延べ人数121人

・庶路沢ルート(1日4便)
 延べ人数59人

○予約制乗合タクシー
 ・和天別沢ルート(1日6便)
 延べ48人

二カ月間の全体延べ利用者数は1948人で、昨年同月の従来路線である町営バス、上庶路線、スクールバス混乗の利用者数より793人増となっている。実証運行利用者に行ったアン

が行われた。

市街地コミュニティバスは白糠市街地と茶路学校前を結ぶ「白糠ルート」、庶路・西庶路市街地と白糠市街地を結ぶ「庶路・西庶路ルート」の2ルート、山間部予約制バスは「茶路沢ルート」「庶路沢ルート」の2ルート。

山間部予約制乗合タクシーは「和天別ルート」の1ルートで合計5ルートでの試験運行を実施した。各ルートの利用状況は以下のとおり。



試験運行のコミュニティバス

ケートの集約は現在委託会社でデータを集約中である。

小野 計画段階で想定範囲だったのか。また、実証運行結果に対する担当課の考えは。

町民サービス課長 今回は無料のため利用者は多いと思っていたが、予想より多い事と、新しい利用者の発掘データがとれた事が大きな収穫と考えている。

小野 実証結果を受けて今後の予定を伺う。

町民サービス課長 平成30年4月の本格運行に向けて、今後は今回のデータを礎に協議会と会議を重ね、調査項目等を増やして平成29年度に再度実証試験運行を予定している。

②石田正義 議員



Q 消防庁舎移転改築の見通しは

来年度中には建設場所を決定したい

石田 消防庁舎の移転改築の見通しを伺う。

町長 消防庁舎の建設には、災害対応に際しての道路網、建設に必要な土地面積の確保、災害現場までの距離、施設機能の内容等を考慮して建設場所や併設施設を検討する必要がある、更には財源確保の問題もある。建設時期も含めて議会と相談しながら取り進めたい。

石田 建設場所について情報収集した内容を伺う。

町長 近年庁舎を建設した弟子屈町や厚岸町、清水町等について、庁舎の位置や道路事情、避

難場所機能の併用等を情報収集してきた。

それぞれの町で条件は異なるが、本町は庁舎の老朽化が進んでおり、できれば来年度中には建設場所を決定して次の段階に計画を進めたい。建設場所は町有地の利活用が望ましい。

Q 産業振興への取り組みは

関係機関・団体と連携を図る

石田 一次産業は町の基幹産業であり、後継者の育成は喫緊の課題。対応策を伺う。

町長 後継者の育成と、定住者や異業種からの新規参入者などによる担い手の確保も併せて、将来を見据えた対策を講じていく必要があると考えている。

農業では、北海道酪農学園大学との連携による現地研修会を開催しており、農家研修者の受け入れ体制も整えている。

また、釧路丹頂農業協同組合では、「農業後継者対策プロジェクト事業」の計画案があり、町としても連携を取りながら支援をしていく。

林業では、早生樹の活用等により林業所得の底上げを図りながら、担い手対策について可能な限り支援体制を図っていく。

漁業では、中核的産業の人づくりを進めるための技術取得経費等を支援することで、長期的に漁業者の育成を図っていく。

本町の恵まれた気候風土や地域特性を活かした強い産業づくりのため、関係機関・団体と一体なって後継者育成と担い手確保に傾注していく。

石田 後継者対策プロジェクト事業の取り組みは将来的にどのような可能性があるのか。

また、木質バイオマスの雇用に係る具体的内容と、漁協近くに建設される魚の処理施設の内容を伺う。

経済課長 後継者プロジェクトについては、丹頂農協が担い手に関して支援する協議会を組成し、行政機関や関係団体と連携して担い手対策について支援策を検討していく。

企画財政課長 木質バイオマスについては、25名程度を雇用すると聞いている。平成29年度になると思われるが、企業には地元高校や地元出身者を雇用するようお願いしている。

経済部長 漁協については、本年度から来年度にかけて荷捌き所(市場)の改修計画がある。現在のところ冷凍・冷蔵施設が増築され、将来的に管理衛生型の荷捌き所にするという計画がある。

石田 白糠町の農業を考える会の取組みについて伺う。

町長 検討項目としては、担い手対策、酪農の将来ビジョン、エゾシカ被害防止対策、家畜防疫対策、野菜生産の振興及び家畜排せつ物対策等を議論し、農業研修生の受け入れや鳥獣被害対策協議会の事業展開、予防注射事業への助成制度の創設、酪農講習会の開催、バイオガス事業に関する研修会などの事業を推進している。今後も農業の健全な発展と魅力ある農村づくりを寄与していく。

石田 農林漁業と観光産業を結びつける考えはないか。

町長 それぞれの分野において体験型観光など素材が多くあり、これらを効果的に取り入れ、一次産業と観光を結び付けた取り組みに努めていく。

石田 地元産業の基本がしっかりとっていないならば観光に結び付けない。恵まれた素材をいかに結び付けていくか。

経済部長 馬、牛、羊とふれあう体験、釣り船、地引き網、獲れた魚の料理教室、シソ関連の商品作り、ブルーベリーやトマトの収穫体験等。PRはツイッターやブログに限らず、誰もが分かりやすい方法を研究して努めていきたい。

Q 保安林の災害対策はどうする

北海道に要望書を提出

A

石田 8月及び9月の台風により砂防ダム奥周辺の土砂風倒木、特に土砂流出防備保安林の被害が多であり対応が必要と考えるが対応を伺う。

町長 それらの被害対応が急務なことは十分認識している。

8月の台風による突風と大雨により風倒木と土砂流出防備保安林を中心に土砂災害が発生し、180からなる小河川や山間の沢から濁流となり、土砂や立木が下流域に流れた。

町・道・国としても早急に被害の把握と災害復旧に努めたが、崩土や倒木で林道等が寸断され、未だ台風被害の全てを把握できていない。

早急にそれらの対策を講ずるべく「河川の防災・減災対策についての緊急要望書」を北海道に提出した。一刻も早い災害復旧と今後の防災・減災対策に取り組んでいきたい。

③ 鎌田民子 議員



介護職員初任者研修受講者に支援対策を

町内での研修開催を準備している

鎌田 平成24年度末で2級ヘルパー制度が廃止となり、平成25年度から「介護職員初任者研修制度」に移行したが、それに伴い受講料が大幅に値上げとなった。ボランティアの人材育成については、生活・介護支援サポートとして現在20名の登録者が活動中との事。平成29年度には養成講座を行いサポートを増員する予定との文書質問の回答だった。

この方々の中から「介護職員初任者研修」を受けて資格を得たいと考える人も出てくると思う。高齢化の進行、介護ニーズの多様化が求められる現状の中で資格を取りやすくし、町内介護事業所での雇用にもつながるなど、支援対策として受講料補助の考えはないか。

町長 平成29年度に社会福祉協議会が主催し、町と町内の介護事業者が協力しながら、町内において白糠高校生及び一般の方を対象にした介護職員初任者研修を開催することで準備している。現在、釧路市内の数カ所にて受講が可能となっており、受講料は7万円から13万円程度と幅があり高額となっている。

町内開催となるため、町施設を利用することや、町職員が講師を務めることにより受講料を5万2千円に抑えることが出来る。

釧路市内までの移動時間や、交通費等についても負担軽減が図れるなど総合的な支援になると思っている。受講料の補助については管内市町村で助成している状況や、財政状況を勘案しながら検討する。

鎌田 来年度最初の講習はいつ頃か。定員は何人か。定員オーバーや定員割れした場合の対応はどうするのか。

保健福祉部長 社会福祉協議会と協議しながら6月頃から開催したいと考えている。定員は10

名程度を考えているが、最低でも8名受講すれば開催する。白糠高校では、毎年3〜4名が釧路市で受講している。地元で開催するので、受講する生徒も増えるのではないかと歓迎されている。一般の方も5〜10名ほど受講するというのを聞いてるので、受講者は確保できると考えている。

就学援助費支給を入学支援金支給月に合わせては

平成28年度は5月20日に支給した

鎌田 新規施策「新入学児童・生徒入学支援金」の支給月は何か。

教育長 子育て世代が抱えている経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み、育てられる環境を整備することで若い世代の人口減少の抑制及び移住・定住の促進を図る。

小学校入学児童一人につき2万円、中学校入学生徒一人につき3万円のシラトピア商品券を支給する。制度の趣旨からも4月のできる限り早い月に支給できるように準備したいと考えている。

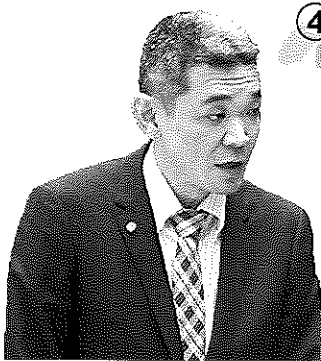
鎌田 平成27年第4回定例会で「就学援助費の支給月を早めて

どうか」の質問に「現行は6月30日決定、7月に支給」との回答だった。財源上の趣旨の違いはあるが、就学援助費も支給月を早められないか伺う。

文部科学省初等中等教育長の「援助を必要とする時期に速やかに支給できるよう市町村に引き続き働きかけていく」という通達を知っているか。

教育長 「なるべく早くとの思いは教育委員会も同様であるので、税の担当部局と連携・協力しながら早める努力をしていく」と答弁した。その後、関係者の協力を得て、平成28年度については、4月末で申請された方々には5月20日に支給した。通達は知っているので、次年度以降も本年度同様に早期の支給に努めていく。

④ 折出征清 議員



老朽化した白中体育館を改修する考えは

年次計画をたてて改修する

折出 白糠中学校の体育館は雨漏り等により授業や部活動に支障をきたしており、足を滑らせて怪我をした生徒もいる。そういった現状をいつ頃から把握しているのか。また、今後体育館を改修する考えはないか伺う。

教育長 雨漏りについては平成22年頃に把握し、コーキング処理により対策を講じているが、風雨の強さや風向きによって雨漏りが生じている。

問題解決には屋根の葺き替えや窓枠の交換等が必要になるが、中学校の校舎全体の暖房設備や配管、トイレなども老朽化により改修の時期を迎えている。

今後は改修に向けて校舎全体の年次計画を策定して対応していきたい。

折出 平成22年から何回補修工事等を行ったのか。

教育委員会次長 毎年確認はしているがコーキング処理をしたのは平成26年の一回。

折出 白糠中学校では最近暖房設備も故障したと聞いた。体育館と合わせて大改修になるが、子どもたちが安心して学校生活

を送れるよう一日も早く年次計画をたてて改修することを望む。



改修が望まれる白中体育館

に対応したい。

折出 回答できなければ結構だが、白糠小学校は茶路川氾濫時の危険地域である。白糠中学校に空き教室があることから、白糠小学校を移転させる考えはないか。

町長 北海道に対して災害対策の要望書を提出しているが、その中に白糠小学校の移転改築も盛り込んでいる。ひとつの案としては白糠中学校への移転・増改築という考えもある。現状では防災を理由とした移転の実現は難しいかもしれないが、今後も継続して要望していく。

Q タクシーの営業時間短縮に対して支援の考えは

A 商工会の対応策をもとにできる範囲で協力したい

折出 町内のタクシー会社の営業時間が平成29年1月から短縮され、夜の営業は9時までとなる。飲食店にとっては死活問題であり、対応策として助成等の考えはないか伺う。

町長 商工会では飲食店が大きな打撃を受けることから対策を検討している。町としても地域経済への影響を考慮し、商工会の対応策をもとにできる範囲で協力したい。

※1 平成29年1月6日現在
最終23時35分

折出 商工会が検討しているという事だが、現在までの分かる範囲での内容を伺う。

町民サービス課長 今月中に商工会のサービス部会が検討会議を開くと聞いている。厚岸町では12月の金・土曜日限定で商工会青年部が主体となってボランティアで送迎していると聞いた。そういったデータも参考にしてみたいかと思っている。

折出 10月にコミュニティバスを試験運行したが、将来的にコミュニティバスを運行させる場合、飲食店利用者とJRを利用する町民のために最終運行時刻を特急の最終到着時刻(※1)に合わせてはどうか。

町民サービス課長 一つの案として地域公共交通活性化協議会に提案したいが、夜間運行になるので乗務員の確保、委託料の増額、需要の把握等の問題がある。それらを協議会で検討した上で良い方法を考えていく。

折出 厚岸町では8月から営業時間が短縮されたが、ある飲食店では売上げが3割落ちたと聞いた。本町の飲食店は町に活気を取り戻すため、はしご酒大会等を実施している。それらの状況を踏まえ、これ以上町の灯りを消さないために町と商工会が連携して対応する事を望む。

⑤ 福地裕行 議員



大本は基幹産業の振興

Q 気候風土を生かした取組みを進めている

福地 まちの盛衰は偏に基幹産業に懸るが、没落に歯止めを掛けるのは至難。一次産業と建設業の具体的な振興を図るべき。

町長 一次産業の再興と振興のもと、原点に立ち返り、足元を耕し直し、気候風土を生かした取組みを進めている。公共事業は計画的に進めるが、一次産業と連関する事業展開にも取り組む。

福地 町長就任から誇るべき実績はあるか。現実にしつかり目を向けて危機感を共有しなければ手遅れになる。

町長 一朝一夕になるものではないが、そ菜・畜産・ヤナギ等で手応えを感じている。悩ましいのは担い手の問題。

Q 何としても白糠高校の2問口確保を

A 鋭意PRに取り組む

福地 まちと白高は一蓮托生。ネックである白高に対するイメージや固定観念の払底は難しいが、入学者増を期するための一番の近道は、町長・教育長の町内対象生徒への個別説得。

町長 入学者確保に向けて全町一丸となって取り組む機会をいただき感謝している。個別訪問は難しいが鋭意PRに努める。

福地 企業と同じでこころ一番はトップセールス。個別説得が難しいのは物理的な理由か、沽券にかかわるからなのか。いずれにしても、2問口確保はここ1、2年が勝負。

町長 機会ある毎に対象者に話しもしている。

Q 分離発注が可能だったはず

A 速やかに復旧させる必要があった

福地 庶路中学校が先の台風で

甚大な被害を受けた。建設業協会（以下建協）も協力し速やかに復旧されたことは大いに評価するが、請負業者選定の経緯は、

町長 建協と締結の「災害時の応急対策における協定」に基づき協力要請した結果、対応可能な会社と随意契約した。

福地 応急工事と本復旧工事を分けて発注したのか。

経済部長 緊急を要したので合わせて発注した。

福地 法律に基づいての随意契約なら何ら問題ないのになぜ建協を介在させたのか。

経済部長 協定の条項に基づいて業者選定した。

福地 単なる任意団体である建協にお願したとは何事か。

経済部長 速やかな復旧が求められたので建協と協議し、遂行能力トータルを勘案のうえ業者選定に至った。

福地 地場企業育成の観点から分離発注だって可能だった筈。安易に考えてはいけない。談合のそしりも受けかねないが公正取引委員会は大丈夫か。

（一般質問終了後、経済部長より、復旧工事については落下物の飛散防止等の対応を実施してもらっていた業者に対し、地方自治法及び財務会計規則により随意契約により発注した旨の答弁の訂正がなされた）

Q 底地を売却してはどうか

A 継続して貸付する

福地 建協（建物）の底地権設定の経緯と今後は、

町長 町所有の普通財産を昭和57年から有償で貸付している。町としては利用計画もないことから継続して貸付する。

福地 権利能力なき社団は契約行為の主体になれない筈。納税と登記はどうなっているのか。

企画財政課長 他団体等にも普通財産を貸付している。納税はされているが未登記物件。

福地 法に基づく地縁団体ならOKだけど。未登記看過のいきさつは。

企画財政課長 登記できない物件で、仮事務所の扱いである。

福地 法も時代も変わっているのだから売却など扱いを変えていく必要があるのではないか。

企画財政課長 継続して貸付するが、建協の考え方もあるので機会をみて相談したい。

Q 新エネルギー事業の進捗状況は

A バイオマス発電事業、水素事業共に平成30年稼働

福地 神戸物産の発電事業と東

芝の水素事業の進捗は。

町長 バイオマス発電事業は12月に確認申請書提出の予定。明年2月中旬に基礎工事着手。平成30年6月から試運転を行い、本格稼働は30年8月の予定。水素事業は、29年度に機械などの据え付け工事と試運転などを行い、平成30年4月から本格稼働し、平成31年秋頃まで実証事業を実施する予定と聞いている。

Q JR問題は重大

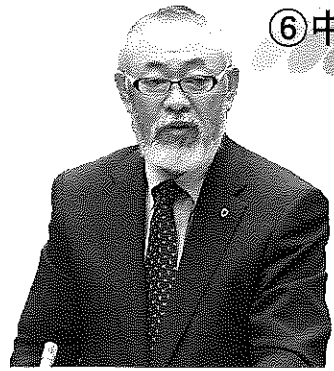
A オール北海道で要請していくことが大事

福地 赤字路線の抜本的見直しを示されたが、全道一丸となつての取り組みが緊要。知事や国会議員の大きな声が聴こえないが、町村会長として本領を発揮するときはないか。

町長 広い北海道においてJR北海道1社だけでの維持管理は不可能。釧路のあるべき姿を議論したうえで北海道が方向性を示し、国に対しオール北海道で要請していくことが大事。

福地 JRだけで成り立つ訳がないことは最初から分かりきつていること。均衡ある北海道の発展と新時代を切り拓くためにも鉄路をなくす訳にはいかない。

⑥中河敏史 議員



Q 町有地の無償提供は全町に拡大すべき

A 今後拡大していく

中河 町外からの移住者促進のため、西庶路の町有地を無償提供するという事だが、提供できる町有地すべてに拡大すべきではないか。

町長 遊休町有地全域を提供の対象としたが、土地の形状や面積要件など活用に向かないところもある。一定の条件のもとに提供可能な遊休町有地から活用していく。

中河 全町に拡大するのは賛成。併せて空き家バンクの情報も公開してはどうか。

町長 空き家及び空き地について商工会と一年をかけて現在検討している。

中河 農家の空き家、遊休農地も含めることで定住が促進できるのではないか。

町長 新しい提案なので今後検討していきたい。

Q 地域おこし協力隊員による商店街の活性化は

A 見直して再募集する

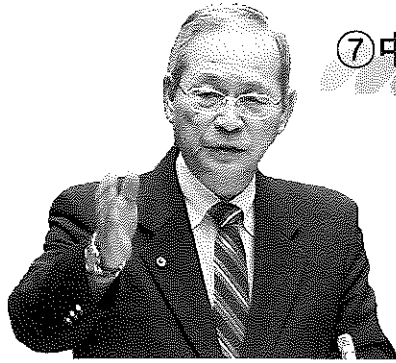
中河 6月定例会の説明では新規に協力隊員を採用し、商店街の活性化を図りたいとのこと

Q 清和園の通りに街路灯が必要

A 地元町内会と協議のうえ設置を進める

中河 新しく移転した特別養護老人ホーム清和園から橋西通りの間に街路灯がない。夜間、歩行者等がいると危険であり整備する必要がある。

町長 町道と天別原野辰辺線から清和園までは町道辰辺高台線を利用しなければならぬが、線形のカーブと併せて勾配が近く、更には、入り口付近に1基しかない街路灯では夜間の通行に支障がある。交通安全対策上、街路灯の設置について清和園及び町内会と協議を進めていく。



⑦中村仁志 議員

だったがどうなったのか。

町長 集客や消費の拡大、空き店舗対策等商業振興に特化した地域おこし協力隊員1名を都市部から募集することとしてホームページ、新聞等で募ったが応募がなかった。

地域おこし協力隊員の在り方を再検討し、募集地域の緩和や条件等の見直しに加え、本町の活性化に結び付く事業にするため、地元の人材も募集対象として、商業振興の創出のほか、新たに一次産業の振興、農村地域の活性化を支援する「地域活性化支援員」として再募集することとした。

中河 町内一丸となって取り組む必要があるため、幅広く募集することを望む。

Q 避難路に手すりを設置できないか

A 設置は難しい

中村 西庶路裏山の避難路が急勾配のため、ロープでも良いので手すりを設置してほしいという要望がある。全町の避難場所も併せて町の考えを伺う。

町長 簡易な手すりになるガイドロープの設置については、支柱となる部分に安全性を担保した強度が必要となる。これらの施設が冬期間除雪の妨げになる為、設置は難しいと考える。

Q 避難所運営マニュアルはあるか

A 関係機関と連携しながら策定をすすめている

中村 熊本地震や今夏の台風被害では、避難所運営に自治体職員が関わったことにより災害対応に支障をきたすケースが見受けられた。自治体職員は特に初動機において多忙を極める。職員が様々な事情から避難所運営に当たってしまうと被災者救助を始め災害復旧に重大な影響を及ぼしかねない。そこで避難所運営マニュアルがあるか伺う。

町長 本町に避難所マニュアルはない。北海道が本年7月に「北海道版避難所マニュアル基本手順書」を示した上で各市町村にマニュアルを策定するよう要請してきたので、現在、運営基準に基づいて策定を進めており、関係機関と連携しながら速やかな完成を目指している。

中村 初期避難者の中から代表を選び、避難所の運営組織を作ることになるが、どう考えているか伺う。

町長 長期間にわたり避難所を運営することでこのような組織が必要であるという前提で、町職員との連携や組織運営体制など、どのようなあり方が良いか精査しながらマニュアルの策定をすすめる。

中村 避難所訓練の実施状況を伺う。

町長 現在は実施していない。今後は地域住民と共に、避難所において発生するあらゆる困難な事象の解決策を導き出す座学による「避難所運営訓練」を行い、次にそれらを反映させた「行動訓練」を逐次展開していく。

Q 土曜授業の成果は

A 次年度に繋がる成果があった

中村 土曜授業の実回数と成果について伺う。

果について伺う。

教育長 町内全ての小中学校が年5回の土曜授業を計画・実施している。実施内容はECタイム、アイヌ文化出前講座、職業体験発表会、ふるさと参観日など、積極的に活用されている。成果については、「普段の授業では深まりが期待できない内容を集中的に取り組むことが出来る」余裕をもって教育活動ができるようになった」などの声が寄せられており、次年度に繋がるものと考えている。

Q アスベスト問題がないか

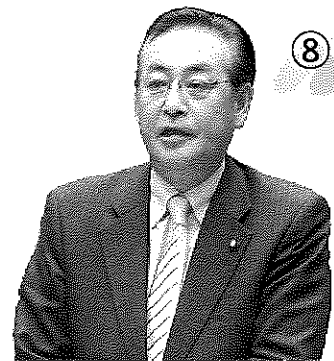
A 万全の対策をとる

中村 町内各学校にアスベスト問題がないか伺う。

教育長 本年10月末の調査結果では、白糠小学校と庶路小学校の煙突の二本の断熱材にアスベストが含有されていることが判明した。白糠小学校は剥離がなく、使用することに支障はないとの報告を受けているが、早期に国庫補助金の財源を確保し、対策工事を実施していきたい。庶路小学校は剥離があったので飛散防止対策を実施した。

今後ともアスベストについては万全の対策をとっていく。

⑧富田忠行 議員



Q 上庶路庶路停車場線の完全復旧の見通しは

A 3月20日に迂回路から本線に切り替える予定

富田 8月の台風11号により上庶路庶路停車場線の中庶路から新興の間で道路が決壊した。現在、迂回路は開通しているが、完全復旧の見通しについて伺う。

町長 北海道から報告を受けている内容としては、12月上旬から2月中旬まで道路の盛土・整形を行い、並行して1月上旬から中旬にかけて護岸工を実施する。その後、3月上旬に舗装工事を行い、3月20日に迂回路から本線に切り替えを行う予定となっている。

総務文教常任委員会

- ◆12月13日 調査項目の追加

産業厚生常任委員会

- ◆10月27日 エゾ鹿やヒグマによる被害状況とその対策
- ◆12月1日 幼児教育・保育に関すること 他

議会運営委員会

- ◆10月28日 議会運営に関すること
- ◆11月25日 議員報酬等の改定
第2回臨時会の運営
- ◆11月29日 第4回定例会の一般質問
- ◆12月6日 第4回定例会の運営

広報調査特別委員会

- ◆1月6日 議会だより135号校正等
- ◆1月17日 議会だより135号校正等

決算特別委員会

- ◆10月4日～6日 紙面に記載

全員協議会

- ◆11月11日 新規施策(選挙公約)項目の概要
白糠高校の存続に関する支援策
チセの移転改築
議員報酬における人事院勧告の取扱い
議事日程、一般質問通告概要の周知 他

議員研修会



研修会の様子

11月21日から22日にかけて弟子屈町で平成28年度釧路町村議会議員研修会が開催されました。

本町からは全議員が参加し、

- ①釧路振興局長 田辺利信氏による「北海道創生加速化に向けて」
 - ②日本空輸(株)釧路支店長 井上かおり氏による「地域観光活性化に向けて私達が出来ること」
 - ③弟子屈町地域おこし協力隊員 炭田晃希・鈴木禎洋・高木浩史氏による「南弟子屈地域の活性化の取組み」「弟子屈産ワイン生産の取組み」
- 以上の講演を聴講しました。

会議出欠一覧表 (平成28年1月～12月)

区分	定例会・臨時会					委員会等 (※)				
	開催日数	出席	欠席	遅参早退	全日程出席率	開催日数	出席	欠席	遅参早退	全日程出席率
折出征清	12	12	0	0	100%	36	32	4	0	88.9%
立石 巧	12	12	0	0	100%	44	44	0	0	100%
中河敏史	12	11	0	1	91.7%	27	24	2	1	88.9%
中村仁志	12	12	0	0	100%	44	44	0	0	100%
小野キサ	12	12	0	0	100%	55	55	0	0	100%
富田忠行	12	12	0	0	100%	55	55	0	0	100%
岡嶋賢悟	12	11	0	1	91.7%	45	44	0	1	97.8%
鎌田民子	12	10	1	1	83.3%	54	49	4	1	90.7%
山吉公德	12	12	0	0	100%	32	30	2	0	93.8%
福地裕行	12	11	1	0	91.7%	27	26	0	1	96.3%
小池憲一	12	12	0	0	100%	44	39	4	1	88.6%
石田正義	12	12	0	0	100%	28	28	0	0	100%
丸子 忠	12	11	0	1	91.7%	14	14	0	0	100%

※ 総務文教常任、産業厚生常任、議会運営、広報特別、予算・決算特別の各委員会及び全員協議会並びに白糠高校存続協議を加えた合計。所属によって開催日数が異なります。
議長(丸子 忠)は委員会には所属しません。議長公務として各種会議及び行事に出席しています。

傍聴席から



柴田幸安さん

83歳
昭和50年の町議会議員
初当選以来、9期36年
にわたり本町の議会議員
を務め、平成15年から
は4年間議会議長の重責
を担う。現在、橋北3区
町内会会長。

僕らの頃は改選毎に定数を減らしてきた。
生き残るために厳しさがあつた。

議会に対する町民意見を掲載
する「傍聴席から」。

今回「登場いただくのは、30
年以上にわたり町議会議員とし
て町政に携わり、現在も町内会
長としてまちづくりに参画され
ている元議会議長の柴田幸安さ
んです。

議会の表も裏も知っている立
場から昔の議会のお話や今の議
会に対する思い、また橋北3区
町内会会長として白糠高校に関
するお話を伺いました。

議会について思うこと

【担当】柴田さんが引退されて
から6年になります。ご自身
がいた頃と比較して今の議会を
どう感じていますか。

【柴田】昔は政党派が何派もあ
って、自民党の保守系、社会党
の炭労を中心にした組合出身議
員、共産党、公明党があつた。
その中で政策論争が多かつたけ
れど、今の場合はなんとというか
会派届けをしていないから正式
な会派は無いことになっていて
けれど、一応ひとつだけあつて、

その内部ですら政策集団であ
りながらもそういった町の提出
案件に対しての議論、精査する
ということがあまり無いような
話を聞いている。少しぬるくな
つてきたような気はする。

僕らのときは改選毎に定数を
減らしてきた経過があつて、当
初26人だったものが24人になり、
22人になり、18人になり、最後
は13人になった。やはり生き残
るために厳しさがあつた。

今はなんだか定数が固まって
きたような感じ。前回無投票に
なつたにもかかわらず定数を減
らすという空気もないようだし。

噂を聞けば定数を減らせば議会
が進まなくなるとか、まずくな
るといふ話をしているようだけ
れど、道内でも定数が8や9の
団体がある。少なければ少ない
なりに常任委員会を一つにする
とか、全てを網羅すればいいわ
けだから、そして通年議会にす
るとか。そういった議論がない
のは自分が現役のときと比べる
と寂しいといふかなんというか。

【担当】定数のお話をされまし
たが、そこについては議会運営
委員会で議論されていて、まだ
全議員での議題として遡上して
いない状況になっていますが。

【柴田】定数を減らすと議会運
営に支障をきたすとか、滞ると

いつている者もいるようだけ
れど、それは自己保身だろうと。
平成17年の住民投票で白糠町
が単独でいくとなつたとき、議
員定数は今の13名になつたけ
れど、それよりもっと減らして
いいという議員もいた。彼らが
今も議員として残っているから
議会運営委員会には属していな
いかもしれないけれど、誰かが
声をあげればきつとそういった
議論にはなると思う。他の人が
言わないから今はだまつている
だけで。

弟子屈町は今年11人になつた
でしょう。そうして選挙に臨ん
だけれど、うちのまちだって急
激に人口が減っているから、あ
と何年かしたら7千人くらいに
はなると思う。そういうことも
見通して進めなければ。

なんだか「まあまあ、そのう
ちに」って調子ではないかと感
じているよ。

【担当】平成27年の町議選は24
年ぶりの無投票でしたが何が原
因だと思えますか。

【柴田】町政に対する厳しさの
欠如と、興味を持つ人が少なく
なつたんじゃないかな。自分で
ここを良くしようとか、変えよ
うと思う人が少なくなつたと思
う。

【担当】これからの議会に期待
することは何ですか。

【柴田】議会基本条例に沿って
進めて欲しいと思う。それが議
会運営上の基本だから。

今は議会報告会もやっていな
い。人が集まらないからとか、
参加者がどうか言っているよ
うだけれど、そんな事は関係ない。
明文化されているんだから。集
まらないなら何か方法を考える
とかしない。

【担当】何かのイベントに併せ
て開催するとか？ 高校の問題
にからめて高校生と意見交換す
るとか？

【柴田】高校生は18歳で選挙権
も持っているんだし。以前同じ
ような事を言ったことがあるん
だけれど、議長が音頭をとらない
と。

高校について思うこと

【担当】高校の話が少しでまし
たが、町内会長として白糠高校
の存在をどう感じていますか。

【柴田】白糠高校がうちの区域
内にあるということはすばらし
いことだと思つているよ。

今は町内会と高校が一緒にな
って防災訓練もやっていて、昔
は高校独自でやっていたんだけ
ど、校長先生に声をかけて4年
くらいまえから一緒にやってい

る。

一日交流でそばうちもやって
いる。一番最初はもちつきだっ
ただけで段取りが大変でそば
になったんだよね。もう25年く
らいやっていてと思う。

続けるということが伝統行事
みたいなもので、環境整備もや
っているけど、それももう10年
以上は続いているかな。

白糠高校の存続を願うという
のは第一義だね。

【担当】町では白糠高校支援の
ために助成制度を始めましたが、
支援制度の内容についてはどう
感じていますか。

【柴田】良かったよ。高校から
の要望が中心になって教育委員
会がまとめたということだけど、
中身をみると初めてなのによく
対応してくれたなど。

初年度だから、まずやってみ
てどういう動きになっていくの
か、いきなりあれもこれもとい
う訳にはいかないと思うし。

【担当】白糠高校の支援につい
て議会の動きはどう感じていま
すか。

【柴田】議会はやはり白糠高校
振興協議会で決まったこと、そ
れをちゃんと議会として理解し
て共通認識に立たないとならな
い。協議会には議会の常任委員

長なんかも入っているから、そ
れを議会の中で報告して、来年
なら来年のやるべきことを議論
して、その中で決めたことをも
つて次の協議会に望んでほしい
とは思う。

それと議会としても高校と交
流しておかないと駄目だね。協
議会の総会の際にほんんと参加
して話をして学校側の考えを
議会がわかっていないと困る話
だから。

まちづくりについて

【担当】人口減少対策として新
事業を展開するのはご存知かと
思いますが、他になにか思うこ
とはありますか。

【柴田】小さな子どもをもつた
世帯の移住が大きな手立てにな
ると思う。

お金でつると言ったらおかし
な話だけど、移住のための手当
てを支給するとか、そこまです
ないとわざわざ他の土地からこ
ちらに住んでみようとは思わな
いんじゃないかな。土地の無償
提供なんかは他の町でもやって
いるわけだから。

【担当】これからの白糠町はど
うあってほしいと思いますか。

【柴田】子どもたちの笑顔輝く
まちづくりもいいけれど、これ

だけ老人が多くなったら老人の
住みやすいまちづくりというか
そういうのも必要じゃないかな。
我々もそうだけれど免許証を返
納する時代なんていうのはすぐ
に来ると思うんだよね、そうす
ると交通対策というか、そうい
う問題が出てくる。

タクシー券はもらっているけ
ど使いにくい。全部使い切って
いる人は少ないんじゃないかな。
都市部なんかはいいかもしけれ
ないけど、田舎じゃあ営業時間も
限られているし。

こないだ試験的にコミュニテ
ィバスなんかを走らせたけれど、
あのルートを見ると一部の地域
を中心に行っているというか、う
がった見方かもしれないけど、
どうもそんな感じがする。そこ
の地域は老人が多いのかもしれ
ないけれど、歩かないでバスを
利用する人が多いのかな。橋北
にも老人は結構いるんだよ。そ
こらへんもきちんとおさえてほ
しいね。

おまけ

【担当】今だから言える裏話や
失敗談はありますか。

【柴田】昔は公害の関係が大変
で、昭和50年代の半ばかな、西
麻路の軽工業団地に六価クロム
の処理工場を作るといいう話が水

面下であったんだよ。その後は
釧白工業団地にPCBの処理工
場を建設するという話もあった。
その時は賛成と反対が拮抗して、
最終的に中止になったんだけど、
町民の勝利だった。

他にもいろいろ、庶路ダムの
建設と漁業補償の問題とか、競
艇場とか。クリーンセンターの
ところは8千万円かけてポーリ
ングもしたよね。温水を送るた
めのパイプまでいれて、一回も
お湯が通ることはなかったけど。
あとは合併の関係かな。結果
的に住民投票をやって、あのと
きは55%未満の投票率だと投票
結果は無効にするということだ
ったから、ある企業や団体は投
票に行かないほうがいいよとい
う空気になっていた。だけど投
票率が55%超えるような情勢に
なつて、締め切り時間が近くな
った4時頃からあわてて投票に



最近夢中になっているペン習字。まさに生涯学習

動いたけど遅かったね。
当時は合併しなければ6億8
千万の赤字ということだったか
ら、単独になった後にそのお金
を捻出するのは大変だったよ。
(平成28年12月27日 柴田さん
宅にて)

◆◆◆ 一筆御礼 ◆◆◆

現役時代よりも幾分温和な表
情で、自身が初めて選挙に出た
ときの事など(掲載できません
でした。すみません)、いろいろ
なる話を丁寧にしていただきあ
りがとうございました。

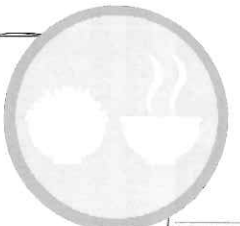
ただ、時折ぐつとこちらの心
を射抜くように見つめてくるそ
の目は現役時代とかわらない
ままで、厳しい言葉の数々と併
せて、まさしくこの人は町のこ
意見番なのだと思わされた。

最後に笑いながら言われた言
葉、いつか実現できればと思っ
ています。

「何年かたつたら、このイン
タビューを見返してまた話がし
たいね。その時に書く勇気があ
れば」

【ご意見番：豊かな経験と知識
を持ち、偉い人に対しても遠慮
なく意見を述べ、忠告する人】
(議会広報担当)

「おしらせ」 レストランはまなすさんからのご提供
 3月定例会（3月2日頃開会）を傍聴された方の中から抽選で2名の方に千円分のお食事券をプレゼント。



しらぬかい店

こんな店

今号でご紹介するのは、地元食材を使用した豊富なメニューで人気の「レストランはまなす」さんです。

ニューも豊富で、特にワインは常時400種類以上が用意されています。

レストランはまなすと言えば、何といっても数々のメディアでとりあげられた「そびえ立つ天井」が有名ですが、その他にもお食事メニューを覗くと、地元食材である羊肉を使用したカレーやハンバーグ、酪恵舎のチーズを使用したパスタやサラダなど、地元愛を感じるメニューが所狭しと並んでいます。また、料理以外のデザートやドリンクメニューも豊富で、特にワインの谷口修さんは趣味？が高じてソムリエの資格を取得しています。話しかけると駄洒落と一緒に安くて美味しいワインやワインをカッコよく開ける方法が聞けるかもしれません。※美味しい料理とワインが楽しめる「ワインの会」が不定期で開催されています。気になる方はチーフまで。

住所…白糠町東二条南二丁目
 電話…(2)2188

今号のお店紹介：

レストラン はまなす



釧路からもファンが訪れるワインの会。料理とワインで4,300円!! (前回)

あとがき

二〇一七年、あけましておめでとうございます。

昨年は例年以上に地震や台風被害が多かった年でもありました。列島の地殻変動の活発化、地球温暖化もあり、今後も天災が日本を襲う可能性は高くなることでしょう。

温暖化ガスが要因ならば、一人一人が身近なところで電気の節約も含めて小さな積み重ねで行動することも大事なことから改めて思います。

◆議会は改選期三年目の折り返しの年を迎えました。議会運営委員会、総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会はそれぞれの調査事項の継続、新規の調査などに取り組みます。

◆町民の皆さん、お気付きだったでしょうか？ 役場ロビーに定例会の日程、一般質問、議案内容を記した掲示板を設置しました。議会だより第132号誌上の「傍聴席から」というコーナーで、傍聴された方から「議会開催日以前に、日程や一般質問通告概要をロビー等で公開してはどうでしょうか」とのご意見に応えたものです。議会毎に掲示しますので、来庁された際にぜひご覧下さい。

読みやすい、充実した内容の紙面づくりを目指し努力して参ります。

今年もどうぞよろしくお願い致します。

(鎌田)

議会に足を運んでみませんか。

町民みなさんの議会です。

定例会開会前に役場1階ロビーで会議日程及び一般質問の概要を掲示しております。
 町のホームページにも議会情報を掲載しております。
<http://www.town.shiranuka.lg.jp/>